

# 施策評価シート

評価実施年度：平成29年度

事務事業所管部局長 (幹事部局)	健康福祉部長 吉川敏彦	電話番号	0852-22-5230
---------------------	-------------	------	--------------

## ①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
目的	県民自らが健康づくりに取り組む環境の整備と適切なサービスの提供を進め、県民の生涯にわたる心身の健康の保持増進を図ることにより、健康長寿日本一を目指します。

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
平均寿命（男性）	目標値		79.95	79.95	79.95	79.95	歳	平均寿命（女性）	目標値		87.18	87.18	87.18	87.18	歳
	取組目標値		80.19	80.30	80.42	80.53			取組目標値		87.70	87.83	87.96	88.08	
	実績値	80.41	80.30						実績値	87.30	87.53				
	達成率	-	100.2						達成率	-	99.9				
75歳未満がん年齢調整死亡率（男性）	目標値		94.7	92.1	92.1	92.1	%	75歳未満がん年齢調整死亡率（女性）	目標値		47.3	46.1	46.1	46.1	
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	104.7	98.7						実績値	54.9	60.7				
	達成率	-	95.8	-	-	-			達成率	-	71.7	-	-	-	
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中や自死による死亡率の低減により、平均寿命は延びており、昨年度設定した取組目標を目指す。</li> <li>脳卒中死亡率は男性、女性とも減少傾向が続いているが、単年のデータでもあることから、新たな目標設定は見直す。</li> </ul>														

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均寿命は男性の実績値が予想以上に伸びており、この背景は40～64歳の死亡の減少によるものと考えられる。実績値が目標値を超えているため、取組目標値を平均寿命の伸び率と過去50年のデータを用いて、適切な推計方法により推計した平均寿命の上限値（男性85歳、女性92歳）から各年度の推計値を出し取組目標値とした。実績値は単年の値によるため今後も変動が予想される。直近値を含む過去5年間の平均値では、男性79.85歳、女性86.81歳であり、取組目標値を目指していく必要がある。</li> <li>75歳未満がん年齢調整死亡率は、経年的には減少傾向にあるものの、減少率が鈍化している。</li> <li>男性の脳卒中年齢調整死亡率の平成27年値については、単年のデータのため変動による減少であると考え、すでに28年度目標値を達成しているため31年度の目標値を前倒す形で取組目標値を定めた。本来は5年平均値等による評価が適当である。</li> </ul>
---	---

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中、自死などの死亡率低減により、平均寿命は延びており、圏域特性を活かした県民運動の展開や、科学的根拠に基づく取組み、特に民間企業などとの連携強化による壮年期の健康づくり対策の推進が図られている。</li> <li>75歳未満のがん死亡率は目標に達しておらず、近年は横這い状況である。主ながんの中でも、胃がんの死亡率は減少傾向にあるが、肺がんと大腸がんは横這い傾向、子宮頸がんは増加傾向にある。一次予防、二次予防の市町村支援・県民運動・圏域毎の取組強化により死亡率の低減を図る必要がある。</li> <li>健康長寿しまね推進計画の中間評価にかかる各種調査結果では、喫煙率や運動習慣、かかりつけ歯科医での検診などは改善してきているが、食生活では特に働き盛り世代男性が悪化している項目が多かった。</li> </ul>

## ⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命を延伸し、健康で高齢期を迎えるために、働き盛り世代からの健康づくり、生活習慣病予防について、保険者や事業主と連携した「身近な場所での情報入手」「職場での健康づくり(健康経営)」の支援のさらなる強化や、スーパーマーケットや薬局を県民への情報提供の場としてさらなる連携の強化</li> <li>男女間、圏域や市町村間の健康実態の格差縮小のために、背景の生活実態の探索により、市町村毎の健康寿命の延伸を目指す取組の支援を強化</li> <li>自死による死亡率は減少傾向にあり、今後も自死の原因分析を踏まえた効果的な事業実施や、専門的な相談支援や医療へのつなぎなど総合的な対策の実施</li> <li>特定健診、特定保健指導やがん検診、歯周病検診、肝炎ウイルス検診などの受診率、実施率向上や啓発について市町村、保険者や事業主と推進</li> <li>たばこ対策として、今後さらに飲食店や理美容店、宿泊施設と連携した受動喫煙防止対策の推進、また男性の健康指標改善につなげるためにも、禁煙支援のための情報提供を強化</li> <li>難病や小児慢性特定疾病、肝炎医療費対象者への適切な情報提供と、専門相談などによる在宅療養支援のさらなる充実</li> <li>感染症の発生状況を把握し、収集した情報を県民や医療機関等に的確な情報提供</li> </ul>

## ⑥今後の取組の方向性

課題解決に向けての今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の発症率、死亡率などと各種調査結果について、県と市町村が協働で多角的な分析を行うことにより、市町村の課題や特徴に即した事業実施に取り組む。</li> <li>特に働き盛り世代の健康実態の改善に向けた、保険者や関係団体との協働事業の実施などによる働き盛り世代への健康経営の取組みを支援する。</li> <li>自死対策は、心の健康を理解するためのストレスチェック表の配布、悩みを抱えた人が相談しやすいよう各種相談窓口の周知、いのちの電話のボランティア相談員の確保、自死の危険を示すサインに気づき、見守り、適切な行動が実践できるゲートキーパーの養成とステップアップ研修の強化など県民運動としての取組みを進める。</li> <li>公共機関の受動喫煙防止の取組強化、妊産婦、未成年者の防煙の取組、青壮年期の禁煙指導に向けた情報提供を通じて県民運動のさらなる強化を図る。</li> <li>食育や健康な食についての身近な地域での多様な情報発信を、民間企業や関係団体との連携によりさらに推進する。</li> <li>健康づくりと介護予防の一体的な推進により、地域包括ケアシステム構築支援の一貫として、最期の時まで自分らしい生活が送れるよう、特に高齢者のフレイル対策(低栄養防止、ロコモ予防)や、小さな拠点とのコラボによる健康なまちづくりの取組みを推進する。</li> <li>がん対策は市町村、保険者や事業主への働きかけを強化し、がん検診の精度向上、受診率向上に向けた取組みを推進する。</li> <li>特定医療費、小児慢性特定疾病医療費、肝炎医療費の対象者への情報提供により、適切な制度利用での負担軽減と、専門相談やフォローアップによる療養支援を推進する。</li> <li>感染症のまん延を防止するため、医療機関と連携し速やかに感染発生情報を把握し、県民や医療機関などへ的確に情報提供していくとともに、患者が発生したときには、徹底した調査・検査を実施し、感染拡大防止を図る。</li> </ul>
--------------------	--

施策評価シート別紙1(5以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

施策の名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
-------	------------------

②総合発展計画に定める成果参考指標の目標(実績)

項番	指標名等	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
5	脳卒中年齢調整死亡率(人口10万対) (男性)	目標値		40.4	39.7	39.0	38.4	
		取組目標値		38.4				
		実績値	38.8	37.7				
		達成率	-	101.9	-	-		%
6	脳卒中年齢調整死亡率(人口10万対) (女性)	目標値		21.3	21.2	21.1	21.1	
		取組目標値						
		実績値	21.4	19.9				
		達成率	-	106.6	-	-		%
7		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
8		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
9		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
10		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
11		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
12		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進				
-------	------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	保健福祉情報の収集・提供事業	統計調査で得た価値観や健康への意識等県民ニーズや人口動態や受診状況情報等現状分析をふまえた施策立案のための基礎資料を取得・分析し、一般県民等に情報提供する。	20,719	17,845	健康福祉総務課
2	健康長寿しまね推進事業	県民自らが健康づくりに取り組みやすい環境を整備する。	7,226	8,045	健康推進課
3	生活習慣病予防対策事業	1. 生活習慣病になる人を減らす 2. 生活習慣病の早期発見をする 3. 生活習慣病の人の適正管理を進める。	152,914	163,842	健康推進課
4	食育推進基盤整備事業	食生活改善(食育)に積極的に取り組む人を増やす。	12,669	12,586	健康推進課
5	80歳20本の歯推進事業	8020(80歳で20本以上の歯を残す)を達成する。	4,282	4,384	健康推進課
6	地域保健関係職員研修事業	地域住民のニーズに応じた保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供や質の高い地域保健活動ができる人材を育成する。	2,562	3,382	健康推進課
7	特定医療費等助成事業	難病患者の医療費負担の軽減及び治療法の確立を図る。	880,438	1,084,038	健康推進課
8	難病相談・支援事業	総合的な相談支援を行い、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と、難病患者及びその家族の生活の質(QOL)の向上を図る。	24,764	29,109	健康推進課
9	原爆被爆者対策事業	必要な療養や健康の保持ができるようにする。	533,389	513,794	健康推進課
10	肝炎医療費助成事業	抗ウイルス治療等に係る医療費負担を軽減し、早期受診・早期治療を促して肝硬変、肝がんの予防やウイルス感染を防止する。	134,804	187,517	健康推進課
11	精神保健推進事業	心の悩みを軽減するとともに、必要な人に速やかに医療を受けてもらう。	26,962	37,873	障がい福祉課
12	感染症予防対策推進事業	感染症の発生及びそのまん延防止を図る。	53,161	55,879	薬事衛生課
13	エイズ予防対策推進事業	エイズのまん延防止を図る。	3,101	3,122	薬事衛生課
14	結核予防対策推進事業	結核のまん延防止を図る。	39,552	36,337	薬事衛生課
15	公害健康被害対策推進事業	健康被害にかかる損害を補填するための補償ならびに被害者の福祉に必要な事業を行う。	5,890	2,778	薬事衛生課
16	小児慢性特定疾病対策事業	患児の保護者の医療費負担の軽減及び治療方法の確立を図る。	136,258	166,778	健康推進課
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					